BEST AVAILABLE COPY

公開実用 昭和63-81721

⑩日本国特許庁(JP)

①実用新案出願公開

[®] 公開実用新案公報 (U)

昭63-81721

@Int_Cl_4

識別記号

庁内整理番号

❸公開 昭和63年(1988)5月30日

B 60 K 35/00 G 01 D 7/00

A-8108-3D K-6964-2F

審査請求 未請求 (全 頁)

図考案の名称

車両用表示装置

②実 顧 昭61-176587

母出 願 昭61(1986)11月19日

②考案者 長 雌

良 和

静岡県裾野市御宿1500

⑪出 朋 人 矢畸総業株式会社

東京都港区三田1丁目4番28号

邳代 理 人 弁理士 淹野 秀雄

THIS PAGE BLANK (USPTO)



明 細 書

1. 考案の名称

車両用表示装置

2. 実用新案登録請求の範囲

表示器の表示像を車両のフロントガラスに投影 するようになした車両用表示装置において、

前記フロントガラスへの表示器の表示像の投影位置を調整する駆動手段と、該駆動手段により調整された所定の投影位置情報を読出す読出し手段と、該記憶された投影位置情報を呼び出す記憶位置呼出し手段とを備え、前記呼出し手段により呼び出した投影位置情報により前記駆動手段を作動し所定の投影位置に表示像を投影するようにしたことを特徴とする車両用表示装置。

3. 考案の詳細な説明

(産業上の利用分野)

本考案は自動車等の車両の速度、或いは各種警告表示等の情報をフロントガラスに投影して表示するヘッドアップ表示装置と称される車両用表示



装置に関するものである。

〔従来の技術〕

従来のヘッドアップ表示装置(以下HUD装置 るは第3図、第4図に示す構成で活動。 図に示す構成ででは第3図に示す構成ででは第3回に示すがのフロントがある。 はずかいて、車両のフロンがは、 はがいて、車両のフロンがは、 はがいて、がは、 はがいたができる。 がいたができるが、 でいる。 がいたができるが、 がいたがいたが、 でいるが、 でいる。 でいる。

斯かる構成において、表示デバイス 5 により形成される表示パターン 5 a は、その背面に配置した光源 6 により凸レンズ 4 を通過し、フロントガラス 1 の面上に反射する。この反射光を運転者が



見ることにより、その表示像10を虚像としてフロントガラス1に投影させ、その前方にある外部の風景と重複させて見ることができる。この表示像10は運転者が異なる場合、その視点11の変化により投影表示位置が変化する。そこで駆動装置9を駆動してHUD装置2を回動することによりHUD装置2のフロントガラス1に対する対向角度を変化させ、運転者の視点11における最適の表示位置を設定する。

[考案が解決しようとする問題点]

斯かる従来の装置にあっては、駆動装置9により一時的にフロントガラスに投影した表示像10の位置を移動させた場合、元の表示位置に像を戻すために再度駆動装置9を作動する必要がある。特にその車両に関して使用頻度の高い運転者に代って、一時点に他の運転者が運転する場合、不要でである。 を作動して表示像10の投影位置を駆動でで、再び元の運転者に戻る場合は、再び元の運転者に戻る場合は表示像10の投影表示位置を駆動装置9の作動により設定し直さなければならず、



操作に係る負担が大きい。

(問題点を解決するための手段)

本考案は上述の問題点に鑑み成されたものであり、その手段は表示像を車両のフロンとを車両用表示といる。とれた投影するようになった。前記フロントガラスの表示といる。とれた所記フロントガラスの表示といる。というの投影位置を調整するを関係したものである。

〔作 用〕

上記手段において、使用頻度の高い表示像の投影位置を設定するために、該表示位置に対応する 位置情報を予め記憶手段に記憶する。駆動手段により表示像が任意の投影位置にあるとき、記憶位 置呼出し手段により記憶手段から前記予め記憶された投影位置情報を読み出し、該情報と現在の投



影位置情報とを比較することにより駆動手段を作動させ、表示像の投影位置を使用頻度の高い位置 に簡単に移動することができる。

(考案の実施例)

以下本考案の実施例を図面と共に説明する。

第1図に示す実施例において、第3図,第4図 と同一部分は同一符号を付配する。



任意の位置に設定するもので可逆転機構を有し、 上方及び下方の2方向にHUD装置2を駆動する。 メモリスイッチ15はHUD装置2の所望の位置 に対応した表示位置データをコントローラ13に 設けたRAM等の記憶装置13aに記憶させるものである。リクエストスイッチ16はメモリスイッチ15で記憶した所望の表示位置を呼び出すために、駆動装置9を駆動させてHUD装置2を即 動させ、その表示像10が前記所望の表示位置となるようにするものである。



ラ13から駆動装置9に対して信号を出力する。 駆動装置9はこの信号を受けて作動し、HUD装 置2を回動させる。所望の表示位置に到達したら 表示位置調整スイッチ14の操作を解除し回動を 停止させる。次にメモリスイッチ15を操作し、 このときのHUD装置 2 の回動角度を角度センサ 12で検出し、その検出データをコントローラ1 3に設けた記憶装置13aに記憶させる。その後 表示位置調整スイッチ14を再び操作してHUD 装置2を任意の位置に回動し、表示像10を前記 所望の位置から移動した場合において、リクエス トスイッチ16を操作すると、記憶装置13aに 記憶されている回動角度データが読み出され、コ ントローラ13からその検出データに基づく駆動 装置9に対する駆動信号が出力される。この駆動 信号によって駆動装置9が前記記憶装置13aに 設定した所望位置と現在の回動角度が一致するま で回動し、表示像10が所望位置に形成される。 以上より例えば使用頻度の高い運転者における 最適な表示像10の位置を記憶装置13aに予め



記憶しておき、その他の運転者が乗車して表示位置調整スイッチ14の操作により表示像10を他の位置に変更した場合であっても、リクエスを操作することが駆動により駆動を展開類度の値であることができる。当り、京中の位置を再現することができる。当り、京中の位置を再現することができる。当り、京中の位置を再現することができる。当り、京中の位置を再現することができる。当り、京中の位置を再現することができる。当り、京中の位置を再現する。当り、京中の位置を再現する。当り、京中の位置を再現する。当り、京中の位置を再現する。

また、記憶装置13aには複数の表示像の位置に関するデータを記憶することもできる。これできる。名称できる。名称できる。名称できる。名称できる。との使用頻度の高い運転者に駆動を記憶する。更に対する。更に対する。更に対する。更に対する。更に対する。更に対する。の後出データを記憶装置13を常度というしておき、角度センサ12の検出データと設定されたデータと設定されたデータと改造時比較することにより駆動装置9が回動上限位



置又は回動下限位置に到達したことを検出することができる。これによって各上限及び下限の可動限界位置において駆動装置 9 を不動作として回動機構を保護することができる。

第2図は本考案の他の実施例を示し、本考案に係る表示器はHUD装置2と、フロントガラス1 なの間に設けられた駆動装置9により回動自2な反射鏡17とにより構成され、該反射鏡17の回動によりフロントガラス1に投影する表示像10の位置を可変するように構成したものである。セリー2が取付けられ、コントローラ13、表別でした。メモリスイッチ16が設けられている。

斯かる構成において、運転者の座高が高い場合には、駆動装置9により反射鏡17を矢印A方向に回動することによりHUD装置2からの光は反射鏡17により点線で示すように反射され、表示像はフロントガラス1の上方位置に投影され、運転者の座高が低い場合には、反射鏡17を矢印B

) \$

方向に回動することにより H U D 装置 2 からの光は実線で示すように反射され、表示像はフロントガラス1の下方位置に投影されるようになり、運転者各人に最適な表示が得られる。

ここで表示位置調整スイッチ14を操作することによりコントローラ13が駆動装置9に駆動信号を送出し、反射鏡17が回動して任意の回動位置でメモリスの自動でメモリスの自動でメサ12の検ですることにより角度され、リクエを操作することにより前記はよりが記憶されている検出データが記憶されている検出データが競17を出して反射鏡17を所望の位置に設定する。

なお、上述した装置において、また駆動手段の 回動上限位置と回動下限位置とを設定しておくこ とにより、駆動手段の回動限界位置における回動 機構を保護することができる。

更に表示デバイスを太陽光の逆入射より保護するための表示位置回避装置の復帰機構として用い



ることもできる。

(考案の効果)

4. 図面の簡単な説明

第1図,第2図は各々本考案に係る車両用表示 装置の実施例を示す図、第3図,第4図は従来の 車両用表示装置を示す図である。

1 … フロントガラス、 2 … ヘッドアップ表示装置 (HUD装置)、 4 … 凸レンズ、 5 … 表示デバ



イス、6…光源、9…駆動装置、10…表示像、12…角度センサ、13…コントローラ、13a…記憶装置、14…表示位置調整スイッチ、15…メモリスイッチ、16…リクエストスイッチ。

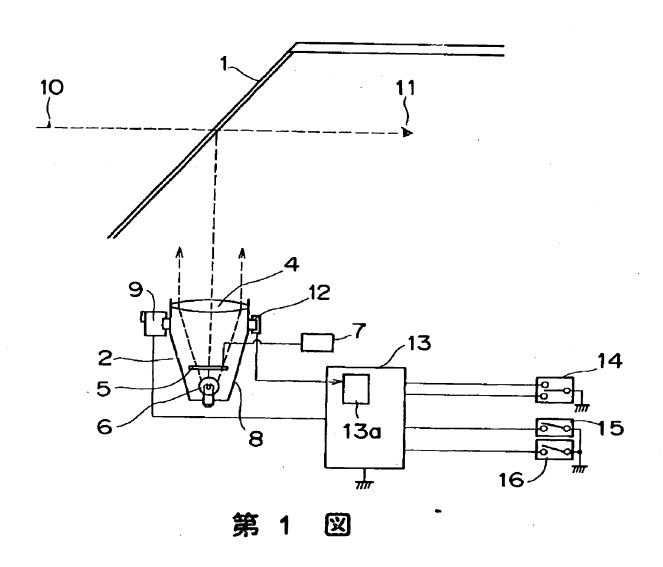
実用新案登録出願人

矢崎総業株式会社

代 理 人

瀧 野 秀 雄



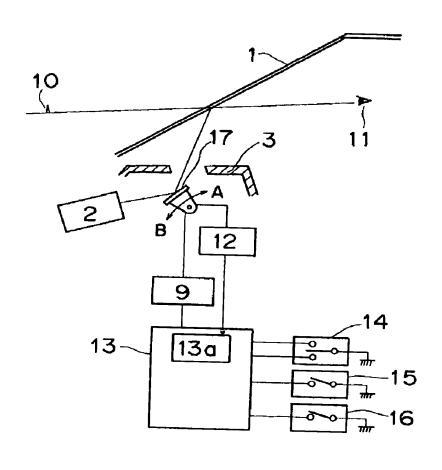


249

実用新案登録出願人 代 理 人 矢崎総業株式会社 瀧 野 秀 雄

发现。第二个

US715

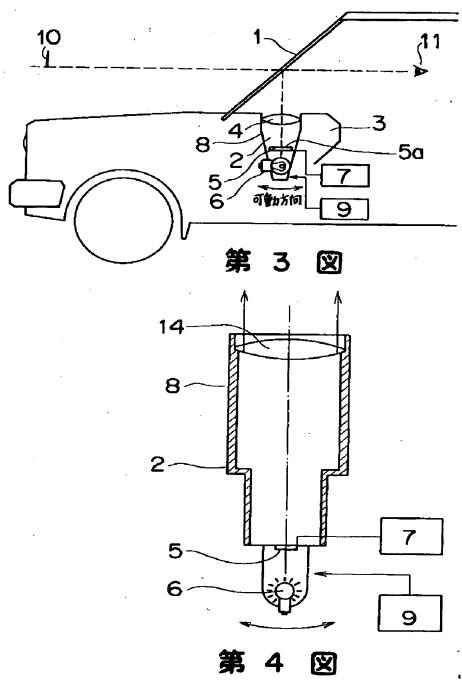


第 2 図

250

^{実用新案登録出願人} 代 理 人

矢崎総業株式会社 瀧 野 秀 雄



实用新案登録出願人

代 理 人

251 矢崎総業株式会社

瀧 野 秀 雄

THIS PAGE BLANK (USPTO)

This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning Operations and is not part of the Official Record

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

BLACK BORDERS
☐ IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
FADED TEXT OR DRAWING
BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING
☐ SKEWED/SLANTED IMAGES
☐ COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS
☐ GRAY SCALE DOCUMENTS
☐ LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT
☐ REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY
□ OTHER:

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.

